

平成25年度 学校経営計画書

津山市立北陵中学校

○本校のミッション（使命、存在意義）

- 教育目標「豊かな人間性を培い、主体的、創造的に自己実現をめざす、心身ともにたくましい生徒を育てる。」
- 指導の重点（１）確かな学力の定着と向上を図る。（基礎基本の定着と活用型の授業改善）
（２）豊かな心を育てる。（一人一人が存在感と達成感もてる集団づくりを進める。
・生徒指導・教育相談・特別支援教育の連携体制を強化し、個に応じた支援と豊かな心の育成に努める。）
（３）将来に夢を持ち、自ら考え行動し、進路を切り拓く力を育てる。
（４）小学校や地域との連携を進める。
学校は『一人前の大人になるための学びの場』である。自分の良さや個性に気づき、それを主体的に伸ばそうとする心や態度は、この中学時代に基礎が培われる。津山市教育基本目標に則り、本校教育目標・指導の重点達成に向け、全教職員が協働して教育活動を展開し、信頼される学校づくりに努めたい

○ミッションの追求を通じて実現しようとする本校のビジョン（将来像、目指す姿）

いちにんまえの大人になるための学びの場

- 目指す学校の姿**
 - ・学力・人間力の向上に取り組む学校
 - ・一人一人の居場所のある学校
 - ・地域と協働する学校
 - 目指す生徒の姿**
 - 友 情 ... 思いやりの心を大切にし、友情を深めよう
 - 責 任 ... 一人ひとりが責任のある行動をしよう
 - 躍 動 ... それぞれの目標に向かって、全力を出し合おう
 - 目指す教師の姿**
 - ・教育目標の実現に向けて、絶えず研究と修養に努め、協働する教職員集団。
- キーワード《つなぎあう 高めあう》

○当該年度の具体的な学校経営目標・計画

- 学校経営目標
学校教育目標の実現を目指し保護者や地域住民と協働し、教職員の組織力を活かした学校運営を図る
- 確かな学力の定着と向上**
 - 基礎基本の定着...・授業規律の徹底（環境・準備・学習集団）
・授業展開（明確な目標・学びあう授業・ユニバーサルな授業）
・学びの定着（学び方・家庭学習・補充学習→地域ボランティアの活用）
 - 活用型の授業改善に努め、自ら学ぶ意欲を育てる。
* 校内研究の成果を実践に活かす。
- 豊かな心を育てる**
 - 一人ひとりが存在感と達成感の持てる主体的な生徒活動を創造する《絆づくり》
 - ・体験活動を通じた集団作り→行事・総合的な学習・生徒会活動・ボランティア活動
 - ・生徒を主体的に活動させるための工夫
 - 特別支援教育・教育相談と連携した生徒指導体制を推進する。《居場所づくり》
 - ・SC・専門機関との連携・相談室2の活用
 - 小学校と連携して積極的な生徒指導に努め、道徳的な実践力を育てる。
 - ・時を守り.....時間を守る・遅刻をしない（チャイム着席）
 - ・場をきれいにし...整理整頓・落ち着いた環境（靴をそろえる）
 - ・礼をつくす...挨拶・言葉づかい・マナー・服装（職員室への入退室の仕方）
- 信頼される学校づくり**
 - 家庭・地域との連携
 - ・学校支援地域本部事業を推進する。地域ボランティアとして美作大学、津山高専、高校等との連携を進める。
 - ・情報の発信に努める。（学校通信の発行、HPの更新と充実）
 - 小学校との連携・北陵中ブロックの連携（生徒指導・教務・研究・特別支援教育）を推進し、小学校から中学校への接続を円滑にする。
 - 組織力の向上
 - ・「報・連・相・確認」ができる仲間作り
 - ・責任と連携